

## 平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月10日

上場会社名 株式会社クリエアナプキ

上場取引所 東

コード番号 4336 URL <http://www.crie.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藏田 徹

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部長 (氏名) 上口 裕司

TEL 087-822-8898

四半期報告書提出予定日 平成26年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	4,753	△10.1	△26	—	△20	—	△16	—
25年3月期第3四半期	5,288	24.4	32	65.0	32	74.4	15	591.3

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 △15百万円 (—%) 25年3月期第3四半期 17百万円 (534.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	△7.07	—
25年3月期第3四半期	6.55	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	1,788	760	42.1	325.83
25年3月期	1,732	789	45.2	338.90

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 753百万円 25年3月期 783百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,528	△5.7	△49	—	△40	—	△37	—	△16.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	2,340,000 株	25年3月期	2,340,000 株
26年3月期3Q	27,400 株	25年3月期	27,400 株
26年3月期3Q	2,312,600 株	25年3月期3Q	2,312,600 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づくものですが、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結結果計期間のわが国経済は、海外景気の底堅さや円安を背景に、輸出が持ち直し傾向で推移し、設備投資にも持ち直しの動きが見られるなど、景気が緩やかに回復しつつあります。

人材サービス業界では、企業の業況判断の改善から、新規求人数が増加し、有効求人倍率が上昇するなど、雇用情勢が改善してきております。

このような経営環境の中にあつて、当社グループは、① 人材派遣事業の再活性化、② アウトソーシング事業の収益改善、③ 人材紹介事業、医療関連人材サービスの売上拡大の3点を当連結会計年度の目標に掲げ、持続的な成長に向けた収益力の強化に取り組んできました。

以上の結果、当第3四半期連結結果計期間の当社グループの業績は、主力の人材派遣事業の不振が響き、売上高4,753,569千円（前年同四半期比89.9%）、営業損失26,209千円（前年同四半期は32,138千円の営業利益）、経常損失20,796千円（前年同四半期は32,823千円の経常利益）、四半期純損失16,350千円（前年同四半期は15,147千円の四半期純利益）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

各セグメントの営業利益の合計額は326,707千円ですが、全社費用等の調整（調整額△352,917千円）により、四半期連結財務諸表の営業損失は26,209千円となっております。

#### ① 人材派遣事業

当事業の売上高は2,842,639千円（前年同四半期比80.6%）、営業利益は206,919千円（同76.7%）となりました。

当社グループでは、先般の労働者派遣法改正（平成24年10月施行）で登録型派遣の原則禁止が見送られたことを踏まえ、継続的かつ安定的な収益源である当事業の再活性化をめざしております。しかし、旧政権下の「専門26業務派遣適正化プラン」に従って期間制限がある自由化業務に切り替えた派遣契約に関し、期間満了による終了が続いた結果、新規契約数の回復傾向に反して、前年同四半期の実績を2割ほど下回りました。

#### ② アウトソーシング事業

当事業の売上高は1,639,019千円（前年同四半期比107.8%）、営業利益は3,058千円（同13.7%）となりました。

物流関連アウトソーシング事業を営む株式会社クリエ・ロジプラスにおいて、繁忙期の天候不順の影響などで主たる取引先の出荷量が減少したことなどから、収益が低迷しました。

なお、当社において、経済産業省が所管する全国中小企業団体中央会から、主婦層の雇用促進を柱とした「中小企業新戦力発掘プロジェクトコーディネーター等事業」を平成25年4月に受託するなど、公共性の高い案件にも積極的に取り組んでおります。

#### ③ 人材紹介事業

当事業の売上高は113,315千円（前年同四半期比118.3%）、営業利益は91,638千円（同118.8%）となりました。

前期に引き続き、従来より幅広い層における求人の開拓、求職者の確保に努めた結果、全般的に成約件数が増加しました。また、医療関連人材サービスの分野でも、紹介実績が積み上がってきております。

#### ④ 再就職支援事業

当事業の売上高は4,024千円（前年同四半期比31.0%）、営業利益は529千円（同27.4%）となりました。

景気悪化局面で需要が急増する特性を持つ当事業については、引き続き、四国地域を中心に地道な営業活動を展開しております。

#### ⑤ IT関連事業

当事業の売上高は118,241千円（前年同四半期比111.2%）、営業利益は21,379千円（同139.8%）となりました。

株式会社クリエ・イルミネートが首都圏を中心に提供する研修や教材作成のサービスについては、マイクロソフト社のSharePointに関する技術者向けトレーニングが堅調に推移したことなどから、前年同四半期の実績を上回りました。

#### ⑥ その他

上記の各セグメントに含まれない事業の売上高は36,329千円（前年同四半期比141.7%）、営業利益は3,182千円（同105.9%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産、負債及び純資産の状況は、次のとおりであります。

① 資産

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前期末に比べ55,874千円増加して1,788,102千円となりました。これは、現金及び預金の増加(694,418千円から779,074千円へ84,655千円増)、仕掛品の増加(37千円から34,794千円へ34,757千円増)などによるものであります。

② 負債

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前期末に比べ85,612千円増加して1,027,888千円となりました。これは、短期借入金(18,000千円から85,000千円へ67,000千円増)、1年内返済予定の長期借入金(22,800千円から39,464千円へ16,664千円増)及び長期借入金(65,500千円から177,570千円へ112,070千円増)などによるものであります。

なお、有利子負債の期末残高は、前期末に比べ195,734千円増加して302,034千円となりました。

③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前期末に比べ29,738千円減少して760,213千円となりました。これは、配当金の支払い及び四半期純損失の計上に伴う利益剰余金の変動(434,514千円から404,288千円へ30,225千円減)などによるものであります。

なお、自己資本比率は、前期より3.1ポイント低下して42.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想は、本資料の発表日現在、平成26年1月31日付 当社「平成26年3月期 業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表しました数値から変更はありません。

なお、最近の業績動向については、本資料及び上記の適時開示資料をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	694,418	779,074
売掛金	693,215	628,694
仕掛品	37	34,794
原材料及び貯蔵品	2,673	2,448
前払費用	25,952	27,452
未収還付法人税等	—	10,822
繰延税金資産	26,677	38,206
その他	17,144	12,513
貸倒引当金	△1,717	△1,313
流動資産合計	1,458,400	1,532,693
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	14,918	13,257
工具、器具及び備品（純額）	13,485	10,133
その他（純額）	163	163
有形固定資産合計	28,567	23,554
無形固定資産		
のれん	98,276	74,606
ソフトウェア	22,354	24,691
電話加入権	4,188	4,188
その他	143	67
無形固定資産合計	124,962	103,554
投資その他の資産		
投資有価証券	1,727	9,263
繰延税金資産	19,729	21,999
差入保証金	95,842	94,722
その他	2,998	2,315
投資その他の資産合計	120,297	128,299
固定資産合計	273,827	255,408
資産合計	1,732,228	1,788,102

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	18,000	85,000
1年内返済予定の長期借入金	22,800	39,464
未払金	86,450	85,719
未払費用	465,776	437,880
未払消費税等	90,712	52,579
未払法人税等	30,836	4,857
預り金	45,246	46,204
賞与引当金	51,502	33,421
その他	11,215	4,639
流動負債合計	822,540	789,766
固定負債		
長期借入金	65,500	177,570
退職給付引当金	54,235	60,552
固定負債合計	119,735	238,122
負債合計	942,276	1,027,888
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	243,400	243,400
資本剰余金	112,320	112,320
利益剰余金	434,514	404,288
自己株式	△6,646	△6,646
株主資本合計	783,587	753,362
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	147	142
その他の包括利益累計額合計	147	142
少数株主持分	6,216	6,708
純資産合計	789,952	760,213
負債純資産合計	1,732,228	1,788,102

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	5,288,397	4,753,569
売上原価	4,328,705	3,887,613
売上総利益	959,691	865,956
販売費及び一般管理費	927,553	892,165
営業利益又は営業損失(△)	32,138	△26,209
営業外収益		
受取利息	52	59
受取配当金	213	15
持分法による投資利益	—	2,543
業務受託手数料	180	186
受取賃貸料	2,011	1,929
助成金収入	148	2,758
その他	394	163
営業外収益合計	3,000	7,654
営業外費用		
支払利息	2,315	2,241
営業外費用合計	2,315	2,241
経常利益又は経常損失(△)	32,823	△20,796
特別損失		
固定資産除却損	459	—
特別損失合計	459	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	32,364	△20,796
法人税、住民税及び事業税	25,182	8,857
法人税等調整額	△9,719	△13,796
法人税等合計	15,462	△4,938
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	16,901	△15,857
少数株主利益	1,754	492
四半期純利益又は四半期純損失(△)	15,147	△16,350



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	16,901	△15,857
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	376	△4
その他の包括利益合計	376	△4
四半期包括利益	17,278	△15,862
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	15,523	△16,354
少数株主に係る四半期包括利益	1,754	492

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	人材派遣事業	アウトソー シング事業	人材紹介事業	再就職支援 事業	IT関連事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	3,527,181	1,520,460	95,793	12,995	106,331	5,262,761	25,635	5,288,397	—	5,288,397
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	975	975	525	1,500	△1,500	—
計	3,527,181	1,520,460	95,793	12,995	107,306	5,263,736	26,160	5,289,897	△1,500	5,288,397
セグメント利益	269,808	22,311	77,139	1,932	15,290	386,482	3,004	389,487	△357,349	32,138

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、研修・測定サービス等を含んでおります。

2. 調整額は、次のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額△357,349千円には、セグメント間取引消去2,070千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△359,419千円が含まれております。

(2) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	人材派遣事業	アウトソー シング事業	人材紹介事業	再就職支援 事業	IT関連事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	2,842,639	1,639,019	113,315	4,024	118,241	4,717,239	36,329	4,753,569	—	4,753,569
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	4,527	—	—	—	675	5,202	225	5,427	△5,427	—
計	2,847,167	1,639,019	113,315	4,024	118,916	4,722,442	36,554	4,758,997	△5,427	4,753,569
セグメント利益	206,919	3,058	91,638	529	21,379	323,525	3,182	326,707	△352,917	△26,209

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、研修・測定サービス等を含んでおります。

2. 調整額は、次のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額△352,917千円には、セグメント間取引消去5,070千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△357,987千円が含まれております。

(2) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。